なにつくってるの？
東葛
工場拝見⑧

アスリートを陰で支え スポーツの楽しさを伝える

セノー株式会社

松戸市

特A品の皮のみを使用したセノーのあん馬

スポーツは、アスリートにも観衆にも共通の感動を与えてくれるものだ。

今回は、華やかなスポーツ競技を裏で支えている道具たちに注目してみよう。例えばバスケットのゴール、バレーのネットや審判台、床体操の床、つり革、鞍馬等など、実は日本製が少なくない。これらの製品は、国内のみならず国際大会でも使用されている。そんな縁の下の力持ちが、松戸市に本社を構えるセノー株式会社だ。数多くの世界大会で使用されるスポーツ器具を生産している。

セノーの始まりは、1908(明治41)年、鳥取県の勢能家が個人商店を始めたことにさかのぼる。その後、学校で使用される壁に設置している梯子に似た運動器具―「肋木」(ろくぼく)の生産から跳び箱、マット、鉄棒など学校体育の分野で成長していった。

2012(平成24)年にはミズノグループに参加し、更に発展を遂げた。今やセノーの体育器具の国内シェアは約60％となり、納品先の70％は官公庁、全国の学校、市区町村の公共施設等を占めている。

製品は、群馬県沼田市の工場や外注で生産し、3～4年かけて耐久テストを繰り返し、松戸市本社でまとめて出荷・納品。メンテナンスについても60人を抱える専門の関連会社を運営し、フォロー体制も万全だ。今後は、自社製品だけでなく他企業の製品もメンテナンスしながらスポーツ利用者の安全を確保する、より総合的な体制作りを強化していく。また、海外に向けての製品づくりにも力を入れており、「スポーツは公平であり、品質にばらつきがあってはならない」という理念のもと、国際認定機関において認定・証明された確かな品質のセノー製品として海外の取引先からも信頼されている。

ジムで馴染みのあるスポーツ器具

尾崎徹也社長は、今後の展開として「高齢化に向けて家庭内で体力づくりができるようなお手伝いをしていき、また、一般の人々にとってスポーツが身近なものとなるような環境づくりも大切だと思います」と語る。

コロナ禍において、家庭での過ごし方が見直されている今、健康維持に人々の関心が集まっている。スポーツ分野でもより一層、感染予防や公衆衛生が重要になってくる。

セノーは今後の100年先をも見据えた企業を目標に、スポーツの感動と人々の健康意識の向上に携わるオピニオンリーダーとして前進を続けている。

（取材・文＝高井さつき／撮影＝高井信成）

■セノー株式会社
松戸市松飛台250番地
☎047・385・1111

ホームページ

新連載

アッキーの 柏は音楽の街だ！ 2

柏にパッパラー河合あり!!〈後編〉

柏出身のミュージシャンで一番の有名人と言っても過言ではない、爆風スランプのパッパラー河合さん(本名・河合靖夫さん)にインタビューをさせて頂きました！

コミックバンドなのか？～

デビューへの切符はつかんだものの、プロの道は厳しく、そこから2年後にメジャーデビューが決まります。パッパラー河合さん24歳、まだ柏在住。ほどなくして都内に引っ越します。

デビューした後、そこからどう売れていくのか、どう目立っていくのか。サンプラザ中野さんとパッパラー河合さんは考え、奇抜でキテレツな方向へと進んでいくのです。

若い頃の彼らを思い返すと、口から花火を飛ばしたりいろんなものを投げてみたり、それはそれは派手なパフォーマンスだったことを記憶している方もいるでしょう。

その策略もあってかジワジワと全国区のバンドとなっていくのです。

～Runnerに火がついたのは実は紅白だった！～

1988年、CM曲などでスマッシュヒットが続いていた爆風スランプは、ついに紅白歌合戦への出場を決めます。初めての紅白、バンドでの生演奏、横には五木ひろし!!

河合さんの緊張はものすごかったそうです。そしてその紅白でテレビ初披露となったのが「Runner」でした。奇妙奇天烈なバンドの真っすぐで熱い歌は、一斉に国民の心に響きました。

その時の衝撃は物凄かったのだろうと想像できます。紅白がきっかけとなり曲に火がつき、今でも歌い続けられている名曲となったのです。

あの頃はテレビが全ての時代だったので、老若男女、全国に広まるのも早かったのだと思います。

～柏生まれ柏育ちのパッパラー河合です～

売れてからもそう言い続けていた河合さんは、それでも柏市が全国区でないことに気づき「柏マイラブ」という曲まで作ってしまいます。

一貫して地元柏への愛が強く、80年代後半の柏祭りで地元凱旋ライブをした時はとても嬉しかったと。

93年からは柏レイソルも応援するようになり、柏に来る回数も増え、ますます河合さんの柏愛は深まります。バンド活動としては10年くらい活動休止していた時期もありました。

～柏への無償の愛～

現在は柏市の公式HPや柏レイソルの公式HPでブログを書いている河合さん。他にも、ご当地アイドルをプロデュースしたり、柏の音楽イベントに出演したり、出身校の柏第一小学校では記念の歌を作ったりと、音楽を通じて生まれ育った柏への恩返しをたくさんしてくれています。

そんなことを河合さんに告げると「いやいやまだまだ」とさらっと言うのです。そして「地元柏への愛って、無償の愛だよね」と。

ああそこか!!はたから見たら順風満帆、夢を叶え続けられているのは、こういう心持ちがあるからなのだなとハッとさせられました。

なかなかいないですよ、若者にも大人にもこういう人。全てが妙に腑に落ちたのです。

～パッパラー河合の柏ライフ～

そんな河合さん、柏でお散歩するのが大好き。ファミリ柏のパン屋アミに行って立ち話をして、ボンベイに挨拶して、京北スーパーをのぞいて、イトーヨーカドーの地下をぐるっと見て回る…そんなコースが出来上がっているようです。柏には友達もたくさんいるし誰かしらに会うから楽しいと。

70歳までは今と同じように精力的に活動して、そのあとは少しのんびりと柏を毎日お散歩するのもいいなぁと楽しそうに教えてくれました。

『ずっと右肩上がりで栄えてきた柏市も、今全国がそうであるように、ここから上がるか下がるかどうかの瀬戸際です。こういう時だからこそ我々も危機感を感じて、意思を統一して頑張っていこう!』と最後にメッセージをくれました。

河合さんがこれからもずっと音楽はもちろん、全ての柏愛を通じて柏を盛り上げていってくれることに大いに期待します!!

岡田　亜紀（アッキー）
フリーアナウンサー、柏レイソル応援番組のメインMCを2005 年から担当。柏最大の音楽イベント「音街かしわ」プロデューサーや、CCCママ部部長など多方面でマルチに活躍中! プライベートでは二児の母。

インスタグラム

読者のお便り

緊急事態宣言解除後、どこに行きたい？どこへ行った？

原宿に行ける日が待ち遠しいですね!!

宣言は解除しましたが、まだ遠出できる感じではないので、今よりコロナが落ち着いてきたら娘がずっと行きたがっている原宿にいきたいです。（流山市・ねずこさん・44）

1年以上自粛生活でした。せいぜいスーパーへの買い物くらいです。（野田市・田村さん・70）

好きな時に好きな場所に行きたいですね

いつもインスタで拝見させていただいております。地域の情報が満載で、行ってみたいお店や食べてみたいグルメなどをチェックしています。現在病気療養中で外出が出来ないのが残念ですが、元気になったら色々食べ歩きたいと思います。（柏市・ ソフィーさん・53）

見て下さり有難うございます! 更新をお楽しみに!!

趣味の神社巡りをしたいです。緊急事態宣言が出る前（コロナ禍になる前）は御朱印を頂きに神社を巡りながら、近くの美味しいものを食べたりお店をのぞいたり買い物をしたりと散策を楽しんでいました。季節の風を感じながらゆっくりと1日を過ごしてみたいですね。（松戸市・幻玉さん・59）

神社をめぐりながらグルメも楽しむ!そんな日が早く来ますように!

緊急事態宣言解除後行きたいのは台湾です！屋台巡りをする予定だった1年前、泣く泣くキャンセルしました（涙）早くコロナが収束して、思う存分台湾名物の屋台飯食べたーい！（我孫子市・栗栖さん・49）

台湾の屋台飯いいですね～! 憧れています!

緊急事態宣言解除後、この状況が落ち着きましたら新婚旅行でハワイに行きたいと考えています。当分先になるかとは思いますが、一早いコロナの終息を願っています。（流山市・ワシントンさん・26）

新婚旅行でハワイ! 素敵ですね!!

読者のお便り募集中　読者のみなさまの声を随時受け付けています。東葛地域で取り上げてほしい話題や、調べてほしいこと、紙面への感想など幅広く募集しています。

↑投稿はこちら